

10億8千万円のゆくえ 昭和38年度

昭和39年度上半期の財政状況が公表されましたので、38年度の決算見込、市債などについてお知らせし市政についてのご理解を仰ぎ、今後の伊万里市発展にご協力をお願いします。

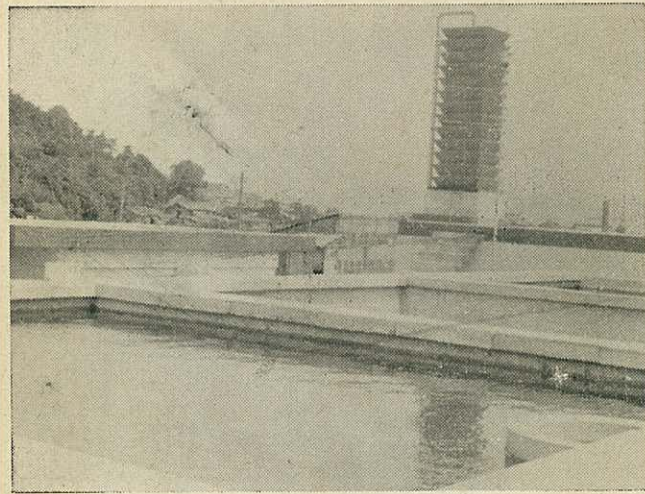
- 昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。
- 昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。
- 昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

市の財政状況を見る 企業誘致の基礎づくり進む

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

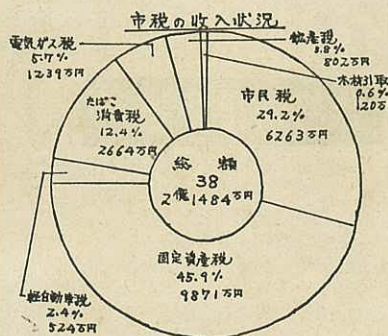
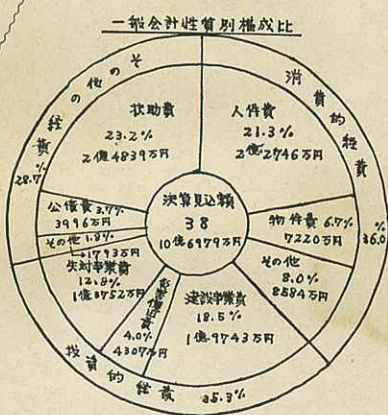


完成した浦の崎簡易水道

昭和38年度一般会計決算見込額

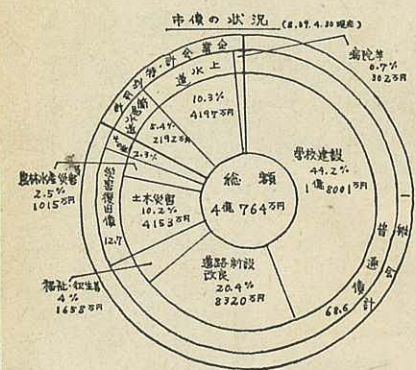
(S38.10.1現在 人口 71,744人)

歳入	昭和37年度		昭和38年度		前年比	38年1人当り
	決算額	割合	決算見込額	割合		
国県支出金	3,174.6	35.3%	3,771.6	35.0%	119%	5,257
地方交付税	2,576.1	28.6%	3,145.3	29.2%	122%	4,384
市税	1,958.4	21.8%	2,148.4	19.9%	110%	2,995
市用債	482.0	5.4%	646.0	6.0%	134%	900
使用料手数料及財産収入	231.0	2.6%	339.6	3.2%	147%	473
その他	575.9	6.4%	718.7	6.7%	125%	1,002
歳入合計	8,998.0	100%	10,769.6	100%	120%	15,011
歳出						
社会労働費	2,078.1	23.2%	2,710.2	25.3%	130%	3,778
土木費	2,206.0	24.6%	2,462.7	23.0%	112%	3,433
教育費	1,233.2	13.8%	1,584.3	14.8%	128%	2,208
市役所費	1,316.2	14.7%	1,398.5	13.1%	106%	1,949
産業経済費	764.9	8.5%	1,029.0	9.6%	135%	1,434
公債費	369.6	4.1%	400.7	3.7%	108%	559
消防費	188.2	2.1%	232.2	2.2%	123%	324
議会費	195.8	2.2%	199.9	1.9%	102%	279
保健衛生費	140.3	1.6%	137.4	1.3%	98%	192
その他	476.1	5.3%	542.8	5.1%	114%	757
歳出合計	8,968.4	100%	10,697.9	100%	119%	14,911



一時借入金 (S39.3.31現在)

一般会計	7,000
物品調達会計	300
市立病院会計	720
計	8,020



昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和38年度特別会計決算見込額

(S38.10.1現在 人口 71,744人)

特別会計	収入額	支出額	差引額	備考
波多津簡易水道	105	87	18	給水人口 942人 水道料徴収率 100%
桶簡易水道	478	372	106	給水人口 3,085人 水道料徴収率 99.4%
浦之崎簡易水道	1229	1251	△22	計画給水人口 3,000人 水道料徴収率
国民健康保険	1,039.0	1,011.4	27.6	被保険者世帯 8,600世帯 人口 39,128人 保険税額1人当り 932円 徴収率 95.6% 受診1人当り 2.8回
市立病院	1,969	2,588	△619	入院延 19,417人 外来延 10,199人
授産場	314	311	3	処理頭数 成牛 581頭 豚 1,816頭 その他 77頭
と畜場	188	89	99	利用者数 2,449人
公益質屋	691	621	70	土地購入 40,460㎡
物品調達	2,131	2,078	53	給水人口 14,695人 水道料徴収率 96.2%
平尾築業団地造成	517	517	0	
公営企業水道	2,153	1,827	326	

市有財産 (S39.3.1現在)

種別	数量	価格及び予定価格
種別	37枚	138万円
積立		1077
預金		101
公用公共用地	679,744㎡	2,314.9
敷地その他	51,735㎡	2,982
山林原野	688ヘクタール	6,951
建物	146,923㎡	8,159.4
工作物(機械器具)	43件	9,029
車庫	23台	1,260
埋立免許権		889
計		12,710

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。



発行所 伊万里市役所
編集 伊万里市総務課
伊万里市大坪町甲2869
電話(代) 2111番

印刷所 松浦印刷所
電話 2522番

人口の推移

(39.8.1現在)

総人口 69,318人(-264人)
男 32,827 (-93)
女 36,491 (-17)
世帯数 15,101 (-22)

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

市税は自主財源の根幹

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

借入金四千万円を返済

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

建設事業費の増加

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

昭和三十八年度は、重点計の決算規模は前年度に比し、歳入十億七九六六万九千九百九十九円、歳出十億六九七九万九千九百九十九円、それぞれ増減しております。収支状況は翌年度への事業繰越分を除き六〇九万円の黒字を占めております。

0320

0322

進む窯業団地造成

平尾団地に十四業者決まる

市では、伊万里焼で全国的に知られている大川内焼を誘致して共同体制をとることを中心に、窯業の生産を伸ばそうと計画をたてて実施しております。

このようにして、窯業設備の近代化、集約化による経営の合理化をはかることは、まず敷地拡張の余地が大川内町平尾地区に窯業団地造成を本年から六、七〇〇万円ではじめております。

近代化された窯業関係企業土地買収もほとんど終り、大川内町平尾地区に第一期中工事約三〇〇〇平方メートルが完成、第二期工事約三〇〇〇平方メートルも本年十一月末までに完成する予定です。

すでに、大川内山から二四業者のうち三業者がこの

団地へ移転してありますが、現在一四業者が移転または進出するようになっております。そのうち、六業者は来年一月から工場建設に着手し、工場によっては四月から操業を開始する計画です。

従業員は全部で五〇〇人を超えますので、来春卒業業者を三五〇人ぐらいは必要とする予定です。そのほか、合板関係の企業進出や既存企業からの採用が考えられるので、市内での就職がますます多くなります。

開港指定にいま一息

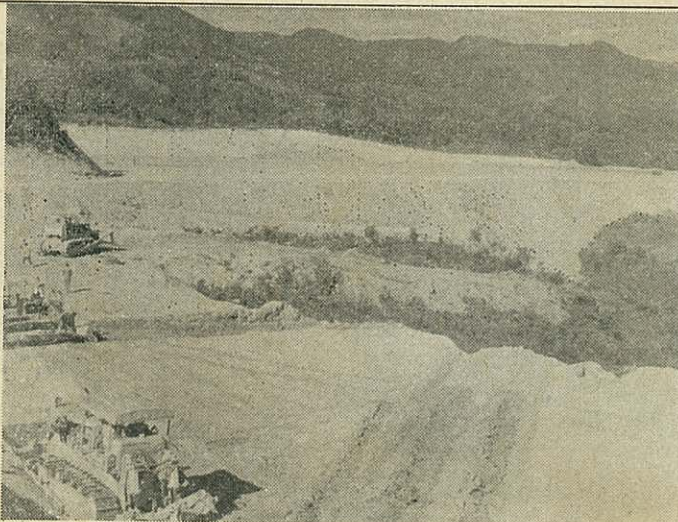
関係業者で協議会つくる

輸入木材関係のラクダ産港に制限をうけるからです業、伊万里合板は、本格的に操業されておりますが、使用する原木が外国輸入材であるため植物検疫などの関係業務に支障をきたしております。

これは開港指定をうけるなければ輸入船の伊万里港入りになります。

九月十五日は、くとしよりの日から三十一日まではこの日から三十一日まで

完成まじかの平尾窯業団地



ふえる飲酒運転

九月十五日から二十四日現在もつと叫ばれているまで秋の全国交通安全運動が展開されます。

激増する交通事故を防ぐには、道路交通環境の整備をはかることも歩行者、運転者、運転者の雇い主などすべての人が正しい交通ルールを守る習慣をつけなければなりません。

市内の交通事故件数をみますと、一月から六月まで七二件発生し、死者三人を出しております。しかも

老人の福祉週間に近づいてくる日です。

老人の福祉週間は、この日から三十一日までです。

とかく孤独でみじめな生活におちいりやすい老人の健康と福祉をため、ひろく国民一般が老人に対して関心と理解を深めるとともに老人自らも生活の向上に努める意欲をもちあげようとするものです。

今年「老人に明るい希望を」をスローガンとして、

1 老人と若い人が家庭で、職場で、話し合い、お互いの立場を理解し、尊重しあう協力することに努めよう。

2 老人に慰問と激励の便りを出そう。

3 老後の生活設計を考え、所得保障、医療保障が推進されるよう働きかけよう。

4 健康を増進し、時代に遅れないよう新しい感覚

促進、貯木場の整備そのほか輸出入額の増加をはかるための各種企業の誘致などを計画してまいります。

このような問題解決を側面的に援助するために、「伊万里港輸入木材協議会」が八月七日に結成されました。

会員は、伊万里合板、ラクダ産業、三井物産、東洋綿花、岩井産業、興和株式会社、奈雅井商会などの直接関係業者で構成されております。会長に鈴木元司、(伊万里合板)副会長に山岸信三(三井物産福岡支店長)監事松尾修氏(ラクダ産業)等が選任され、事務局は市商工観光課内に設けられました。

5 老人に家庭の役割を与えよう。などが福祉週間のねらいです。

市内各地では、この日を中心に婦人会や、部落や町内会などでいろいろな趣向の敬老行事が催されます。

市でも、この催しに際し、米寿を迎えられた八十八才の古川イェさん外十八名に市長からのお祝い、県知事からも記念品が贈られます。また七〇才以上のおとしより全員に記念品が贈られることになっております。

ことしの市内最高令者は波多津町の松本テイさん九六才(明治一年八月二十三日生)です。

おとしよりのしあわせ

9月15日はおとしよりの日

おとしよりのしあわせ

9月15日はおとしよりの日

おとしよりのしあわせ

9月15日はおとしよりの日

無料法律相談所

9月18日(金) 10時~3時

市役所市民相談室

相談員 弁護士 中野邦彦氏

相談事項 56件 相続問題 5件

境界問題 6件 親戚問題 2件 補償問題 2件

縁組問題 5件 素行問題 2件

貸借問題 10件 その他問題 22件

【市内老人クラブの現況】

町名	クラブ名称	会長名	会員数
伊万里町	天寿会	八助 治	178
大坪町	ときわ会	松尾 治	220
大川内町	青螺クラブ	川口 治	140
牧島地区	長寿会	橋本 治	200
黒川町	福寿会	藤原 治	301
波多津町	福老人クラブ	小前 治	250
南波多町	福寿会	前田 治	300
大川町	福老会	池田 治	212
大浦町	福老会	副田 治	400
三浦町	福老会	永野 治	300
東山代町	福老会	藤原 治	200
山代町	福老会	藤原 治	300
計			3,001

時代ごとも生きよう

クラブ集會も楽しい中に

この二期は、老人福祉法が制定されてから満一年を迎えています。老後の生活が明るく豊かなものである事は、おとしよりばかりでなく、すべての人の心からの願いです。これは、戦後の老人の座が家族制度の変遷に伴ってとしよりの座を失った老人が、その老後の精神的なよりどころを老人クラブの中求めようとしておとしよりの手つちかおとす

この二期は、おとしよりの手つちかおとす

おとしよりの手つちかおとす

おとしよりの手つちかおとす

第二学期です

この二期は、おとしよりの手つちかおとす

おとしよりの手つちかおとす

おとしよりの手つちかおとす

希望のたは九月十日までに職業安定所に申し込んでいただきます。

入所定員ならびにその時期は次のとおりです。

自動車整備科 一か年 定員 二〇名

配管科 一か年 定員 三〇名

塗装科 六か月 定員 三〇名

いずれも十月一日入所の予定です。

訓練期間中は、手当もありませんが訓練が受けられますので生活には支障がありません。

なお、くわしいことは職業安定所におたずねください。

☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆

自衛官募集中

▶応募資格 18才~25才未満の男子で中卒程度以上の学力ある者。

▶待遇 初任給11,400円、その他諸手当つき、衣食住は無料です。

▶試験 身体検査は10月26日(伊万里保健所)実施。試験科目は口述、筆記、学識、適性試験の4項目です。

ご希望のかたは市農林水産課で詳しく説明いたします。

市老人クラブの現況

市内老人クラブの現況

市内老人クラブの現況



【写真……二里町老人クラブの集い】

飼育技術を競う

伊万里農林高校で

第三回佐賀県畜産共進会

農業の生産性を向上し、農家所得の増大と国民食生活の改善に重要な役割をもつ畜産は、近年飛躍的發展を示してきました。

佐賀県では、県畜産会、県内畜産関係団体等の共催で、畜産の改良と畜産の堅実な進歩をはかるため、十月三日から五日まで、本市産技術連盟で組織された指導員によって、各戸に巡回指導を実施して広く飼育技

本市と西松浦郡では、ただいま各農協単位で予選会を兼ねて畜産品評会が実施されておりますが、九月十五日の市郡畜産共進会で、県大会出場牛など決定されます。

決定したのは、市郡畜産技術連盟で組織された指導員によって、各戸に巡回指導を実施して広く飼育技

希望のたは九月十日までに職業安定所に申し込んでいただきます。

入所定員ならびにその時期は次のとおりです。

自動車整備科 一か年 定員 二〇名

配管科 一か年 定員 三〇名

塗装科 六か月 定員 三〇名

いずれも十月一日入所の予定です。

訓練期間中は、手当もありませんが訓練が受けられますので生活には支障がありません。

なお、くわしいことは職業安定所におたずねください。

☆☆☆☆☆

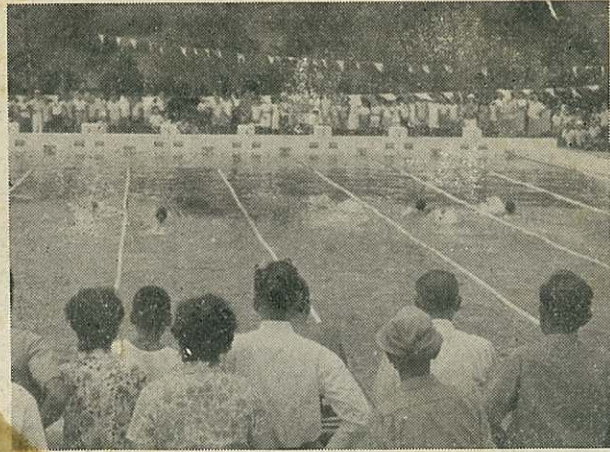
☆☆☆☆☆

できたぞ!

ぼくらのプール

心身ともに鍛えよう

東山代小学校の敷地内にAのみなさんをはじめ、部立派なプールです。プールの完成しました。落民の非常な熱意による寄附金と、市費をあわせてつちの体位の向上と、水の事故を防ぐために校区内PT二五メートルに七コースの



東山代小プールのおよぎはじめ

工事にあつては、市でもはじめての工事であるため慎重な工事計画のもとに、失業対策事業の中で進められました。

プール開きは、八月九日現地、市長はじめ学校PTAその他各関係者多数参加して落成式が行われました。

この日は、特に子どもたちも大ぜい集り、「ぼくらのプール」とばかりはしゃぎながら、市長、校長、PTA会長、生徒代表等の泳ぎ始め式に加わり、たのしいプール開きのひとときでした。

また、大坪小学校でも、これと同じ計画で建設中ですが、まもなく完成します。

上原公民分館が落成

松浦町

八月五日松浦町上原の公民分館が落成しました。これは、松浦小学校旧校舎を有償で下り下りして建てられたもので建設費は七十八万円(部落三八世帯で全額負担)です。

分館が完成するまでにはいろいろ問題もありました。が、十以上の評議員会を開いて解決しました。

分館は、各世帯はもちろぬ、婦人会、青年団、子ども会など大いに利用してもらいます。特に、松浦地区が新生活運動のモデル地区に指定されているので、いまままで続けてきた時間励行

道徳をかめたり清掃美化運動を部活動一体となつて強てられたもので建設費は七十八万円(部落三八世帯で全額負担)です。

また来年は、料理講習や結婚改善の会場にも使用するよう計画し、そのほか部落民の教養の場として大いに活用して行きたいとおもいます。

☆☆☆☆

☆☆☆☆



(出来上つた上原公民分館)

一般住民結核健康診断 日割表

X線間接撮影			
日	時間	会場	場
9月15日	10.00~15.00	波多川小学校	
16	〃	南波多公民館	
17	〃	府招下公民分館	
18	〃	笠椎公民分館	
21	〃	立目分校	
22	〃	黒川小学校	
24	〃	東黒川小学校	
25	〃	大黒川公民分館	

ツベルクリン・BCG予防接種			
月日	時間	会場	場
9月15日	13.30~15.00	波多川小学校	
16	〃	〃	
17	〃	南波多小学校	
18	〃	〃	
22	〃	黒川小学校	
25	〃	〃	
24	〃	東黒川小学校	
26	〃	〃	

市民の声

私の提案

本紙に「市民の声」の欄を開設しました。市政一般のことや、ふだんお感じの点、考えていることなど、どしどしお寄せください。市長や主管課長のお答えと一緒に本紙に掲載します。

投稿されるかたは、住所氏名、職業をはつきり書いてください。住所氏名のはつきりしないのはお答えいたしません。紙上にのせるときは匿名はご自由です。

宛先 伊万里市役所
総務課 広報係

伊万里商店街では建設省に陳情してきましが、昭和三十九年度はじめての着工を認められ八〇〇万円が、これを促進するには着工することになりました。

この街路は駅通りから東新町三叉路、延長五〇〇メートル、幅員二メートルの道路にすることが必要と、この道路はいつから着工され、いつ完成するかで工費は一億円を要します。五か年間で完成したい。この道路の完成によって商店街の危険交通除去や駐車禁止の問題も解決すると思

(林松勇)

本町銀座商店街南側の道路新設工事は昭和三十年都市計画街路網計画決定の際に決定され告示された路線です。これまで数年補助決定について

は、免疫性の効力からみて十月から十一月にかけて実施するのが一番効果的といわれております。

市保険衛生課では、この流行を防ぐため予防接種希望者を調査中です。流行期にそなえ多数申し込みされるよう呼びかけています。

各駐在員(区長)さんが調査していただきますので、九月十日までに申し込んでください。

赤ちゃんコンクリートが実施されます

△十日 大川町
△十四日 南波多町
△十五日 松浦町
△十六日 伊万里町(女)
△十七日 伊万里町(男)
△十八日 黒川町
△二十日 東山代町
△二十四日 二里町
△二十五日 山代町
△二十九日 波多津町

炭鉱離職者のみなさんへ

炭鉱離職者の再就職については、炭鉱離職者臨時措置法でいろいろの援護業務とあわせて、積極的な就職促進がなされております。

本年十二月十八日以降は炭鉱離職者求職手帳(黒手帳)をもたない者は、雇用促進事業団から援護業務(移住資金の受給、雇用奨励金の支給、職業訓練関係の手当、職業訓練宿泊施設の利用、移住宿舎の貸与、労働者住宅確保奨励金の利用等)は受けられなくなりま

森林組合連営部 会ができました

市森林組合第一回役員会が、八月三日柳井町公民館で開かれました。この日は三十九年度事業計画や森林組合事業連営部の設置などを決め、指導体制を整え、今後の運営強化を図ることになりました。連営部会は理事をもつて構成され、総務部、造林部、事業部、指導部に別かれています。

△各部委員長
(△印 副部長)

①総務部
△久重路重五郎 山代町
△川原 俊造 大川内町
△川久保蔵吉 山代町
△米田 万治 松浦町
△尾 清司 大川町
△野 義男 南波多町

②事業部
△古藤 勝太 大川町
△井上 雪正 南波多町
△立石元右門 東山代町
△鳥羽清太夫 南波多町
△坂本 源助 波多津町
△坂本 林作 黒川町
△中島 八郎 大坪町
△山口 岩雄 大坪町

③造林部
△前田 喜市 南波多町
△山口 重一 黒川町
△川原権太郎 東山代町
△吉永権八郎 二里町
△中島 正司 大川町
△市丸力之助 波多津町

④指導部
△松下常太郎 波多津町
△宮本岩津久 大川町
△山口 源市 大川町
△山口 俊一 南波多町
△山口 精一 南波多町
△力武 善次 大川町
△山口精三郎 山代町
△井手芳太郎 波多津町

海外飛躍へのチャンス 派米労働者を募集

この事業がはじめられて本市からも二六名派遣されています。派遣先は、米国の農場に送り、国際的な視野から我が国農業の実態を認識し、労働と生活をを通じて得た諸体験を郷土の農業近代化の推進に役立てようとするものです。

◆募集期限 昭和39年10月20日まで
◆派遣予定 昭和40年4月・5月
または9月

住 所	氏 名	住 所	氏 名
大坪町白野	池田善三	大川町立川	田代正岩
脇田町	岩永島口	〃 山口	宮本口橋
瀬戸町	中江片岡	松浦町桃川	原岩原副島
大川内町	木須町	〃 山形	〃 忠元
大坪町	大坪町	〃 中ノ原	〃 繁九
大川内町	瀬戸町	二里町八谷	福池前藤
瀬戸町	黒川町畑川内	〃 中里	〃 田田
〃 小黒川	〃 塩屋	〃 大里	〃 井井
〃 塩屋	〃 椿原	東山代町滝川内	〃 中倉
波多津町田代	〃 波多津町	〃 里野	〃 石
〃 煤屋	〃 波多津町	〃 東大久保	〃 西
〃 辻	〃 波多津町	山代町福川内	〃 古賀
南波多町大曲	〃 府招	〃 立岩	〃 千代
〃 大川原	〃 大川原	〃 久原	〃 久保
大川町駒鳴	〃 大川町	〃 西分	〃 田吉
		〃 久	〃 小島

職業訓練生募集

伊万里総合職業訓練所ご希望のかたは九月十日までは昨年九月に設置され、炭鉱離職者を対象に、自動車整備科、配管科、塗装科の三職種をそれぞれ専門的に訓練されたい。入所定員ならびにその時期は次のとおりです。

○自動車整備科 一か年 定員 二〇名
○配管科 一か年 定員 三〇名
○塗装科 六か月 定員 三〇名

伊万里公共職業安定所では、炭鉱離職者またはその子弟となつています。中です。入所の資格は、炭鉱離職者またはその子弟となつています。

ただいま、海外移住協会は、派米農業労働者を募集しております。これは農業によつて自立することを希望する青年を米国の農場に送り、国際的な視野から我が国農業の実態を認識し、労働と生活をを通じて得た諸体験を郷土の農業近代化の推進に役立てようとするものです。

◆応募資格
①義務教育を終了した二十歳から満三十五歳までの男子。
②現在農業に従事し、帰国後も農業をもつて自立しようとするもの。
③心身ともに強健で激しい農業労働に耐え、身長一六〇センチ、体重五十五キログラム以上のもの。

◆募集期限 昭和39年10月20日まで
◆派遣予定 昭和40年4月・5月
または9月

農地についての各種申請は 地元農業委員会にも

毎月の定例農業委員会のみなさんからの各種申請を審議しておりますが、件数が多いために一件ごとに現地を調査することは困難です。申請をするときは、必ず地元農業委員会に連絡してから申請書を出してください。

各地区の農業委員会さん

敏見一幸 市蔵平夫 美十一 七実二夫 吉男 助
正岩安 忠元繁九 義安慶広 長 石 千代 岩三 敬
代本口橋 島田田井 倉 立 西 古 賀 林 久保 田 吉 小
宮原岩原副島 福池前藤 中倉 鹿 西 古 賀 林 久保 田 吉 小
大川町立川 山口 山形 中ノ原 中里 大里 東山代町滝川内 里野 東大久保 山代町福川内 立岩 久原 西分 久